

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	立川志の輔 独演会						
目的・内容	<p>【戦略】「文化芸術活動の発信と交流」「県民へのサービス推進」という使命に基づき、多彩なジャンルの芸術鑑賞の場を提供する。併せて、「交流の拠点」としての使命に基づき、年齢や嗜好を問わず鑑賞しやすい雰囲気を出しつつ、顧客満足度の推進と団塊世代の顧客化を目指す。</p> <p>【戦術】①熟年層既存の交流の場である公民館などの各種施設や民間団体、ホームセンターなどへの販売促進。 ②早期の販売告知により、新規友の会会員増を目指す。 ③小ホール実施によるプレミアム性を訴求し、品質重視世代の鑑賞意欲を促す。</p>						
開催日時	平成19年9月27日(木) 19:00開演						
会場	倉吉未来中心小ホール						
入場料・参加費 (友の会)	指定席 5,000円 (4,500円)						
集客状況	入場者数	300名	設定席数	305席	集客率	98%	
事業費状況	予算額	収入	1,275,000円	支出	2,367,000円	収支比率	53.8%
	決算額	収入	1,373,500円	支出	1,592,339円	収支比率	86.2%
来場者アンケート (主なもの)	<p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてだが、大変感動した。 ・心の底から笑う事ができた。 ・このような企画を今後も続けて欲しい。 ・小ホールの設定は成功である。 ・係員の対応が親切で気持ちよかった。 						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <p>①脂の乗り切った、重厚な芸域に到達しようとしている志の輔師を招聘できたことが事業成功に繋がっていった。企画提案として高い評価をする。</p> <p>②事業担当の俊敏な広報活動と販売促進が実質的な集客に結びついた。特に友の会会員の鑑賞満足に応えたことはよかった。</p> <p>③受け入れまで入念に事務所や舞台担当者との連絡を密にしたため、当日の打合せがスムーズに進んだ。</p> <p>④公演の質に対する評価は非常に高いものが得られたと感じる。</p> <p>[課題]</p> <p>①計画段階では色々な広報手段を想定しておく必要はあるが、実態に応じた対応も必要。(本公演の場合、仮ポスター・チラシのみで十分に鑑賞者に公演情報が伝わっている。)</p> <p>②出演者の都合もあるが、一日に二回公演をするなり、二日間公演を行うなり、小空間で回を重ねて上演することで、古典落語の鑑賞者開発の拡大を考えてみるということも必要。</p>						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <p>①採算を度外視した公益性の高い事業に取り組んだことは、財団の取り組みを県民に広くPRしたことになると思う。</p> <p>②今事業のみならず未来中心や財団のPRにつながる営業活動を行ったことは良いと思われる。</p> <p>[課題]</p> <p>①5～600のキャパでも同じ雰囲気が出来たのではと思う。</p>						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業においてもその内容に応じた広報手段を適宜検討していく。 ・1日2回公演など、複数回の公演実施を検討する。 ・事業の人気度(知名度)と実施会場の収容人員などを考慮して、事業実施を検討していく。 						